



2012

豊かで 住みよい 町づくり

VoL.

44

議会だより

2012. 2. 1 発行

上勝

- 2P 12月 定例会
- 3P 臨時議会
- 4P 一般質問 5名が町政について質問
- 9P 新議長就任挨拶・委員会構成
- 10P 新議員挨拶
- 12P 写真で紹介 まちのようす



第5回 定例会

会期 8日
開会 平成23年12月1日
閉会 平成23年12月8日

主な議題

条例

上勝町藤川宿泊施設の設置及び管理に関する条例制定について
5対1で可決

職員の見学休業に関する条例の一部改正について
職員異議なく可決

上勝町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について
職員異議なく可決

上勝町公用施設維持整備基金条例の一部改正について
職員異議なく可決

常勤の特別職の給与及び旅費支給に関する条例の一部改正について
職員異議なく可決

平成23年度上勝町一般会計補正予算(補正第5号)について
5対1で可決

教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について
職員異議なく可決

町道路線の変更について
職員異議なく可決

職員給与に関する条例等の一部改正について
財産の取得について
職員異議なく可決

発議
環太平洋経済連携協定交渉参加に反対する意見書について
職員異議なく可決

請願
東日本大震災の被災者への支援と原子力エネルギーから自然エネルギーへの転換を求める意見書採択を求める請願について
4対2で採択

消費税によらない最低保険年金制度の創設を求める請願について
可否同数議長採決により採択

無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3・3万円支給を求める請願について
可否同数議長採決により不採択

年金支給資格期間10年の短縮を求める請願について
可否同数議長採決により不採択

報告
寄付の申し立てについて 2件

第1回 臨時議会

会期 1日
開会 平成24年1月11日

条例

多目的集会所等の設置及び管理に関する条例の制定について
6対1で可決

平成23年度上勝町一般会計補正予算(補正第6号)について
6対1で可決

監査委員選任(鹿島國男議員)につき同意を求めることについて
5対1で同意

主な討議

多目的集会所等の設置及び管理に関する条例の制定について(野尻集会所)

反対
太陽光発電及び使用料の収受者未定。大杉荘の廃止存続も未定。あいまいすぎる。

賛成
条例はきっちりしすぎると状況変化に対応できない。

反対
平成23年度上勝町の一般会計補正について
児童虐待の報告はないし、電気自動車は3倍の値でムダだ。

賛成
全額補助金だ。CO₂削減もできる。

平成23年度 一般会計補正予算 (補正第5号)

追加 9,934万円
総額 34億6,141万2千円

主な内訳	
● 高齢者交通体系 エコ・モビリティのシステム構築事業	525万2千円
● 高齢者検索等ネットワーク構築用無線機購入	837万5千円
● 保育所運営費	677万3千円
● 月ヶ谷温泉バンガロー付帯工事	449万4千円
● 災害復旧費、耕地・林道・公共	6,450万円

平成23年度 特別会計補正予算

追加 161万5千円
国民健康保険(事業勘定)3号
総額 3億905万9千円

平成23年度 一般会計補正予算 (補正第6号)

追加 5,241万6千円

主な内訳	
● 特別地方交付税(東日本大震災、菌床しいたけ関連分)	2,931万8千円
● 財政調整基金積立	4,500万円
● 住民課 公用車購入(電気自動車)	312万4千円
● ラジキャリ購入費補助(株もくさん)	396万7千円

一般会計予算総額 35億1,382万8千円

主な討議

反対
藤川宿泊施設の設置及び管理に関する条例の制定について

賛成
細かいところのインターンシップと一体の事業で管理者はいろいろやることになる。家賃を受け取るのであれば使用料を徴収しなければならぬ。インターンシップにも賛否両論ある。

賛成
インターンシップ事業は評価できる。インターンシップ生の住宅管理は普通より手間がかかるから家賃は管理者が受け取って良いと思う。

反対
指定管理者を誰がするかについては別のところで議論すればよい。管理条例を作らなければ3年間進めたインターンシップ事業が途絶えてしまう。

賛成
一般会計補正予算について
徘徊者見廻りのためのトランシーバー購入は免許のいらぬもので十分。1台15万円もかかって誰でもが使えないのは無駄だ。

賛成
また、利用されていない温泉バンガロー内装に40万円もつぎ込むのも無駄だ。ベッドなどいらぬ。

トランシーバーは免許がなくても使いこなせることだ。性能が良ければ良いバンガローの内装は必要。



片山文昭 議員

藤川橋東詰め交差点の安全確保は

答 建設課長

県が交差点の歩道側にカーブミラー一基設置工事の入札手続きを行っている。事故のことについては、建設課では把握していない。

問

本交差点では、町民が危険と隣り合わせで通行している。私は、多くの人より本交差点でヒヤリとした、また、これまでに事故が2件発生していると聞いているが建設課では把握しているか。

見通しは 集落再生事業の

集落再生事業の進捗率は、

答 産業課統括

町内65行政区の集落中56の行政区がプランを立てている。現在14集落から申請が出ている。

問

材料支給等で対応出来ない事業はどのように措置して頂けるのか。



明本恵一 議員

町政を住民本位に

12月定例会の一般質問には5人が質問しました。

問

代替ホダ木購入と供給状況は。

答 産業課参事

①ジャパンアグリよりの購入分
12万8,000本
(バイオ直営ハウスへ)
1万9,000本
(町内農家へ転売)
1万4,000本
(県外農家へ転売)
その費用3,000万円

問

福島(千葉製材)の有償引き取り分は怎么样了か。

答 産業課統括

272万円が上勝バイオに入金済み。町よりの助成金と調整清算する。

問

おかしい、町の金庫へ戻入れさせよ。

答 産業課統括

ホダはバイオの物、当たり前だ。

答 産業課統括

材料支給だけで対応出来ない事業は今後、国・県の助成事業を模索しながら予算付けが出来るよう努力する。

問

集落再生事業は、いつまで実施していくのか。

答 町長

私の任期が再来年の4月で、それまでは実施する。

カラス檻の成果は

問

カラス檻を設置してどれぐらいの成果が上がったのか。

答 産業課長

11月末現在で101羽捕獲している。

問

超法規的支出は自治法232条に違反する。町に返還すべきだ。町長及び出納長兼務の副町長に訊く。

答 副町長

今はその職を兼務していない。

答 町長

今回の措置は、放置すれば住民の福祉に多大な影響を及ぼす。本来上勝バイオが処理すべきだが体力がない。手続きに問題はなかった。

悪いIP電話・不当なテレビ料金

問

町民アンケートによるとIP電話の品質が非常に悪い結果が出た。町は責任を持つ。

答 総務課長

不良頻度が高いのは事実。代替品で対応している。

問

町民の意見は自由契約が50%、今のままが17%、自由契約でない理由はない。IRは芯線貸借契約であり関係はない。

答 町長

27年度までの維持管理も含めて検討する。

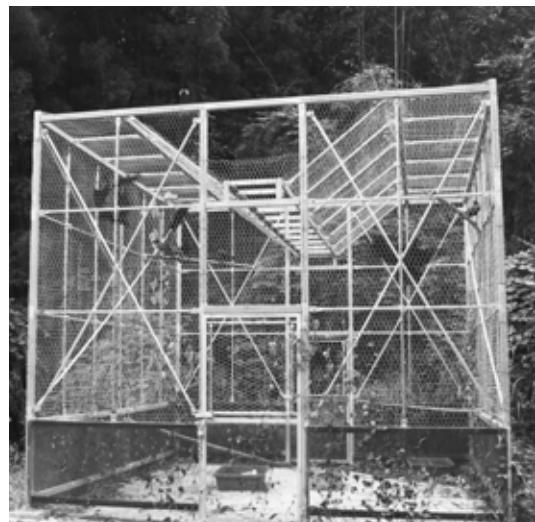
役場前停留所を早く

問

役場前バス停がないなど聞いたことがない。足腰の痛む高齢者のために早く作れ。

答 町長

趣旨は解る。1月から6月まで調査し、良い方法を考える。



カラス檻 (南岡)

問

今後町内で設置される予定はあるのか。

答 産業課長

現在設置しているカラス檻の効果などを検証して、必要であれば協議会等で設置を検討する。

問

国・県が継続的に実施できなくなった場合、町単等で実施して頂けるのか。

答 町長

過疎債等も活用して出来る限り継続していかざるを得ないと考えている。

防護柵設置事業

問

防護柵設置要望が今後も出てくると思うがいつまで継続して頂けるのか。



多田和幸 議員

瀬津地区の上水道整備について

問 平成24年度予算編成に向けてどのような考え方で取り組むか。

答 町長 供給施設はほぼ終わっている府殿地区については辺地債で対応できるよう、国・県へ予算枠の拡大、要望に努めたい。

答 町長 供給施設の調整がほぼ終わっている府殿地区については辺地債で対応できるよう、国・県へ予算枠の拡大、要望に努めたい。

集落再生プロジェクトについて

問 どのように進めて行くのか。

答 産業課総括 集落と役場そして外部の団体、人材の協力を得て進める。受け入れ定住できる集落の意識改革を進める。

答 町長 集落再生は次代を担う若い人に帰ってきていただくか、1ターンのこの地に住んでもらうしかない。

問 町全体を取りまとめる人材が必要でないか。

答 町長 事務局体制を整えるように考える。

問 継続して支援できる仕組みを考えてはどうか。

答 町長 持続可能な集落支援が普遍的な考え方で進められるよう条例化できるよう努力する。



谷口堰堤

問 砂防ダムの土砂の取り除きを行うってどうか。

答 建設課長 東部県土整備局正木ダム管理担当に問い合わせると、ダム機能については、山脚固定、縦侵食防止、堆砂を目的としているので除斥は不要である。

問 県道16号線正木工区の制限速度を時速60kmに要望してはどうか。

答 建設課長 公安委員会が現地の実情に合わせて実施している。県警察本部交通規制課に問い合わせはしたが、現在のところ変更を要望する考えはない。

答 町長 事務レベルでは前段のとおりであるが、正木ダムの管理を考えると放置することはできない。知事に考え方を正す。

答 建設課長 公安委員会が現地の実情に合わせて実施している。県警察本部交通規制課に問い合わせはしたが、現在のところ変更を要望する考えはない。

問 式による実証実験を行い、24年度から、本町に適した運用開始を予定している。在宅で、一人で生活して行くには、非常に困難なことがあると思うが、地域の人々の支え合い、助け合いで住み慣れた町で生活していけるよう努力をしていきたい。

町の補助制度を考えていきたい。

県道の雑草対策は

問 県道沿いの草については。

答 産業課長

県道の管理は県がしており、危険性のあるものは対策はするが、景観に対しては対応していない。一昨年までは、地域の安全を守る会が主体で、年1回していたが、高齢化と高所のため危険であり、ここ数年はしていない。今後検討したい。

答 町長 住民や農協から要望があつて補助制度をつくった。JA東とくしまでは、今年新たにドリンクや、すし酢を開発した。最終的には、こちらで値段を決めて販売するように農業の6次産業化を進めていきたい。また、持続可能な生活については、中山間直接支払制度や戸別保障制度などを長期に要望したい。

答 産業課長 新規の就業者については、近々国の今の制度を説明に来るとするので、いろんな制度を活用したい。



正木トンネル西入口 カーブミラー設置

限界集落の将来は

問 限界集落の将来の政策は。

答 町長 65歳以上52・4%以上、限界集落、58・2%で超高齢化社会になっている。

現在独り暮らしの老人が142人、80歳以上の世帯31。健康会のエンジンバラ50床中47入居、ケアハウス鳩の家18床中18入居。

特別養護老人ホーム40床中40入居。ショートステイ20床中ロング・ショート13人で7人が出入している。合計118人が施設介護を受けている。増床は、県に要望しているが認められない状況である。

グループホーム、シルバーホームを整備してほしいと要望があるが、住宅家賃、介護やホームの管理費を出して入居する

人がいるのかというと、「ほなにお金いるんだつたら、行かんわ」と、こんな話であつた。本町としては、在宅福祉を充実させ、デイサービス、介護予防に努めながら、訪問介護、訪問看護等で、できる限り自宅で人生を全うできるように考えていきたい。

住民課長

高齢者の孤独死の予防については、IP版の緊急通報装置・140世帯、ウェブカメラ・20世帯設置。高齢者の災害時の避難情報の伝達の遅れは生命の危険に及ぶので、迅速に地域の必要な情報を伝達できるように、無線機を配備し、地域で支え合いの充実強化を図っていききたい。

高齢者の買物支援については、調査を始めている。有償ボランティアの輸送事業を実施、徳島県の地域支え合い体制づくり事業で、ダイヤモンド方

瀬津地区の水道

問 瀬津地区の水道については。

建設課長

現在地形を見て、専門のコンサルに概略の設計書と事業費を出してもらっている。実施に関する測量については、事業が決まってから行うようになる。地元への説明は、財源の見通しがある程度立った時点で行いたい。

問 彩や香酸柑橘の苗木に補助を出しているが、生活保障は。

産業課長

彩や香酸柑橘の苗木の補助制度は地場産業の振興のためにしている。要望がある限り実施したい。農家等への補助事業や補助金に頼る生活は、将来性はないと思つているので、自立できる支援を国と県の補助の利用

鹿島國男 議員



渡部厚子 議員

渡部

建設課長

旭(田野々)住宅の住み心地は

デザイン重視の住宅だ

問 町営住宅を建てる時には前の住宅の改良点についてアンケートを取るなどしているのか。旭(田野々)住宅に関して予定はあるか。

答 建設課長 前の住宅の不備な点などを調べる仕組みはない。また、田野々住宅は景観に配慮した住みかえ居住型町営住宅で、デザインを重視した住宅なので、他と大きく違っており、アンケートを取る予定はない。今後は省エネも含め創意工夫を図っていきたい。

問 デザインに意欲的なのは評価するが、住み心地も大切だ。今後住宅建設予定があるのか。居住者から意見を聞くのは重要ではないか。

答 町長 入居者から意見を聞いている。アンケートも検討していきたい。

社長全国公募その後

問 もくさんの、公募社長は、これからという時に辞めてしまった。結局内部の人が社長になった。全国公募の意味があったのか。

答 町長 は、解散の話も出たような経営状態で、内部に適任者がいないので公募した。しかし、会社として組織力が発揮できないとして社長が辞表を出した。社長公募の意味は、それによって若い社員から

社長をやってみようと思いが出たことにある。今後の社長公募は慎重にやりたい。

来年度は景観条例を?

問 日本で最も美しい村として来年度はどのような取り組みをする予定か。

答 産業課長 景観計画、条例等の勉強をして設定の検討をした。しかし、来年度中に作るの難しい。

監視カメラの導入を

問 ゴミの不法投棄や車を傷つける事件が発生している。監視カメラを導入してほしい。

答 産業課長 モラルを上げるのが一番と思うが、一つの手段として検討したい。

ワクチンは危険？

問 子宮頸がん、肺炎球菌、Hibワクチンは効果が限定的で、危険な副作用があり、高価でもある。来年度国の交付金がなくなった場合、町で補助をするつもりか。

答 住民課長 国の交付金に関しては、検討中という状況だ。子宮頸がんは、唯一ワクチン



ゴミの不法投棄

問 子宮頸がんワクチンはリスクの大きい15種のうち2種のウイルスしか標的にしていない。感染してもがんになるのはそのうち0・15%、しかも検診で防げる。他のワクチンも同様、製薬会社の利益が優先で副作用の研究も十分でない。危険で無駄なものに町費を使いたくない。

答 住民課長 ひとりでも救える手だてがあれば町は進めていかざるを得ない。

議長就任あいさつ



上勝町議会議長 藤田 欣宏

平成24年の新春を迎えられたこと謹んでお慶び申し上げます。

平成21年12月21日から議長就任以来、議会議員、理事者、町民の皆様方から頂いた温かいご指導、ご支援により議会運営を行うことが出来たことを心より御礼を申し上げます。

平成24年1月臨時議会に於きまして再度、議員皆様のご推挙により議長の要職に就任することになりました。光栄なる事ながら重責を感じており議会運営、町政発展を願い微力ながら粉骨碎身の精神で努力して参りますので、町民皆様方の温かいご指導、ご協力を賜りますようお願い致します。

現在の勝町を取り巻く環境は厳しく、解決しなければならぬ課題が山積しています。

行財政、人口減少、高齢化比率、耕作地の放棄、鳥獣の被害、町道の維持管理、崩壊集落、第三セクター等々。少ない予算の中で、どれだけ町民の負担に充てられるのか、町民皆様方のご意見を基に議会と執行部局との共通した正確な情報にて審議し、活力ある町づくりへと決意を新たにしています。

最後になりましたが、町民皆様方のご健康、ご多幸をご祈念申し上げます。

上勝町議会正副議長・委員会等構成

(平成24年1月11日)

議長・副議長

議長 藤田 欣宏
副議長 片山 文昭

議会広報調査特別委員会

委員長 渡部 厚子
副委員長 岩本 文昭
委員 片山 文昭
" 松下 和照
" 武市 功

議会運営委員会

委員長 鹿島 國男
副委員長 片山 文昭
委員 渡部 厚子

市町村合併研究調査特別委員会

委員長 鹿島 國男
副委員長 渡部 厚子
委員 明本 恵一
" 藤田 欣宏
" 片山 文昭
" 松下 和照
" 武市 功
" 岩本 文昭

総務常任委員会

委員長 渡部 厚子
副委員長 松下 和照
委員 藤田 欣宏
" 鹿島 國男

産業建設常任委員会

委員長 片山 文昭
副委員長 武市 功
委員 明本 恵一
" 岩本 文昭

小松島市外三町村衛生組合議会議員

議員 藤田 欣宏
" 片山 文昭

議会選出監査委員

委員 鹿島 國男

抱 新議員挨拶 負

明日の上勝づくり 決意も新たに



岩本文昭
議員

新年あけましておめでとうござい
ます。お健やかに過ごしの事とお
慶び申し上げます。さて私儀、12月
の町議選におきまして町民皆様方多
くのご支持を賜わり町政の場にお送
り下さり心より感謝を申し上げます。
日本も東日本大震災の影響も有り
非常に厳しい状況の中、我が上勝町
も同様に多くの問題を抱えておりま
す。少子高齢化、農林業の低迷、第
三セクターの問題、限界集落等難題
ばかりではありませんが、議員各位と
連携を深め、町民皆様方と共に知恵
を出し合い相談をさせて頂いたとき
持続可能な町づくりに真剣に取り組
んで参りたいと考えております。特
に中山間地に大打撃を与えるT P P
(環太平洋連携協定)の交渉参加阻
止に向けて、関係機関と連携を密に
して運動を展開して参ります。
最後になりましたが皆様方に取り
まして良い一年で有ります様心から
祈念致します。これからも引きつづ
きご指導、ご鞭撻賜ります様、お
願い申し上げます新任のご挨拶と
させて頂いたきます。



武市功
議員

新春を迎え皆様には益々ご清栄のこ
とをお慶び申し上げます。
本年が皆様にとりまして最良の年と
なりますことをご祈念申し上げます。
めまぐるしく移り変わる激動社会の
日々、その波にのまれ、ただただ、そ
の対応に苦慮させられるような、そん
な思いの中、高齢化の進むわが町にあ
っては、集落の維持活動の困難性とい
った現実が目前に迫っている状況があ
ります。
全国へ発信力のあるこの町でありな
がら、次代を担う後継者の課題は否め
ない現実であります。この現実をどう
打開して行くか、地場産業の6次産業
化等育成による経済力の向上、若者が
魅力を感じる職場の確保、高齢者が安
心して暮らせる生活環境、未来を担う
子供たちの教育環境の充実等々、私た
ちの住んでいる地域を、子や孫たちに
つなげて行くために、私たち住民目線
に合った地域づくりをどう進めて行け
ばよいか、今やらねば、地域づくりは
みんなが主役、そんな思いを込めて身
近な課題から、こつこつと皆様と共に
活動を進めてまいりたいと考えており
ます。
皆様のご支援とご指導、ご鞭撻の程
をよろしくお願い申し上げます。



松下和照
議員

新人議員としてご挨拶申し上げます。
今は先輩各位に教えを貰いつつ
取組んでいます。
昨年は大地震・津波・原発事故が
重なり、安全・安心の国日本は大き
な災害に弱い一面を露呈しました。
一日も早い復興を願うばかりです。
私達も大地震に備え家具の転倒防止
や各戸で救急袋の準備はしておきま
しょう。山間部ですから落石や山腹
崩壊も考えられるので、避難場所も
心得て下さい。
今耕作放棄地が増加しています。
私達は歴史ある里道や美しい棚田を
後世に残すため、都市住民との交流
やボランティアの受け入れ等々、共
働の力を借りつつ集落再成に取り組
みましょう。
町内を廻ると杉林に囲まれている
所が多数あります。林業の不振と労
力不足の影響ですが、近い将来輸入
木材の限界を考慮し間伐や林道の整
備を進めると共に園地阻害木は影切
しましょう。
今後共にご指導よろしくお願い致
します。



渡部厚子
議員

2期目となりました。前の4年間
をふりかえれば、成就できたことも
あり、できなかったこともありませ
んが、反省の種は山のようにありま
す。町の状況、町政の仕組み、議会の役
割、恥ずかしながらまだわからない
ことが多いですが、2期目は1期目
よりもしっかりとやれると思います。
議会は皆さんの意見を反映する月
でもあり、自らの意見を発する太陽
でもあります。
どちらの光も十分に輝き出て混じ
り合うよう皆さんと共に勉強し、上
勝が持続可能な町になるよう働きた
いと思います。



鹿島國男
議員

初春のお慶びを申し上げます。
皆様のおかげをもちまして、2期
目を迎えることができました。
町内は、相変わらず、イノシシや
シカの被害にあり、安定した生活基
盤が築けません。今年も被害を最
小限に食い止める為にも、鳥獣害の
防護柵を張りたいたいと思っています。
また、杉や香酸柑橘の安定した生
産、販売ができるようにすると共に
高齢者の福祉にも力を入れていきたく
と思っていますので、今後共よ
ろしくお願いいたします。



片山文昭
議員

新春を迎えお慶び申し上げます。
昨年12月の町議選挙におきまし
ては、多数の皆様方よりご支援を
賜り、再当选することが出来まし
た。皆様のご期待に応えられるよ
うに全力を尽くして参ります。
今上勝町では、彩事業・香酸柑
橘等の販売不振、また第三セクタ
ー問題等、非常に厳しい状況にあ
ります。この厳しい状況の中、町
民皆様方のご意見、ご指導を頂き
ながら問題解決を図り、町民皆様
方が安全で安心して生活できる町
づくりに全力で努力して参ります
ので、今まで以上のご指導・ご鞭
撻をお願い申し上げます。
町民皆様方のご繁栄とご多幸を
お祈り申し上げます。



明本恵一
議員

「住民要求実現をめざし
全力投球！」
今年は、年金減額・医療や介護
料負担が増大し、そのうえ消費税
増税まで打ち出されています。
そのために経済は疲弊し、失業
はますます増大してきます。
こうした国の弱いものいじめの
怒濤のような大波から、住民を守
るのも町村議会議員の大切な役目
のひとつであると自覚しています。
住民こそ主人公の立場で町政を論
じ、ムダを省いて福祉・暮らし・
安全・教育にまわすよう、全力で
頑張る決意です。



写真で紹介 まちのようす



飯館村チャリティーコンサート（福原）



どんと焼き（旭）



福川地区小水力発電（正木）



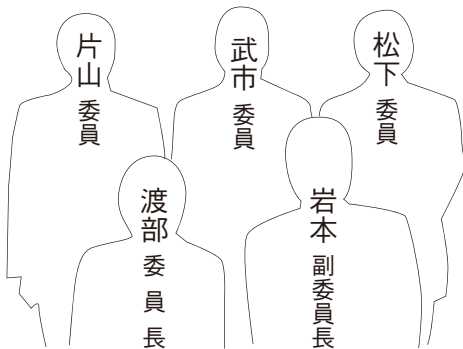
成人式



議会広報調査特別委員会



彩公園歩道舗装工事（正木）



東日本大震災は1年前のこととなった。ピンチをチャンスに変えるというなら今年がその時でなくて何であろう。あまりに大きなピンチにはそれ相応の覚悟がないとチャンスを生かせない。

昔は良かったという気分を捨てて、真っ白な心で今に取り組もう。

（渡部）

編集後記